

注意事項

※各奨学金の出願条件を満たすと同時に、人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者が出願対象者となります。

※このページで募集している奨学金は、特に記載がないものを除き、留学生は出願対象となりません。留学生は所属部局の留学生担当窓口にお問い合わせください。

※出願希望者は、内部選考用願書・希望団体選択票・所得関係書類・成績証明書・（該当者のみ控除関係証明書類）を、各回の申込締切日までに本部奨学厚生課奨学チームに提出してください。

※各回申込締切後、奨学金それぞれの申込者の中から家計収入や成績状況等により内部選考を行い、推薦候補者を決定します。

内部選考の結果は、申込締切日から1週間以内に選考通過者（推薦候補者）にのみ通知します。通過しなかった者には連絡しません。

※選考結果通知の後、推薦候補者には各団体専用の願書等を交付し、出願書類の準備をしていただきます。

その際、指導教員による推薦書作成や健康診断書の提出が必要になる場合がございます。（健康診断書の提出については学内の健康診断日程に応じて期日を設けます。）

※他の奨学金受給を認めない奨学金の受給者が、万が一他の奨学金に採用された場合、どちらか一方の奨学金を辞退することとなります。

内部選考を行う奨学金について(第2回)

掲 載 日:2022年3月10日(木) ~ 申込締切日:2022年4月1日(金)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課(民間奨学金担当) ※必要書類は郵送でご提出ください。

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2022年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額	推薦人数
公益財団法人 旭硝子財団	<p>〈課 程〉 修士、博士(専門職を除く) 〈研究科〉 不問(但し、医学、獣医学、6年制薬学分野を除く) 〈学 年〉 1年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉(1)品行方正、学術に優れ、健康であり、学資の支援が必要と認められる者。 (2)独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに意欲的に取り組む者。 (3)持続可能な社会の実現に向けて取り組む意欲が高い者。 (4)2022年4月以降、当財団の奨学金支給期間中は、他機関より月額12万円以上の給付型奨学金を受けていない者。 (5)2022年7月20日(水)に開催予定の奨学金授与式に必ず参加できる者。</p> <p>※現在取り組んでいる研究テーマが、必ずしも直接「持続可能な社会の実現」を目指していない場合も出願できるが、そのような活動の実績や今後の研究活動に向けての豊富を選考時に重視する。 ※社会人学生は原則応募不可。但し、学生の身分を保有したまま、大学などから報酬を受ける場合は実働時間及び報酬額によって応募可否が変わるため、希望する場合要確認。 ※審査は書類選考のみとなります。 ※2021年秋入学で2022年4月現在第1学年の者も応募可。但し、2022年4月より以前に遡及した支給はしない。</p> <p>〈支給期間〉 2022年4月～正規の修学期間迄(修士は最大2年間、博士は最大3年間)</p>	<p>可</p> <p>※但し、他機関の月12万円以上の給付型奨学金等との併給不可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員、SPRING-GX等の採用者は応募不可</p>	<p>給付</p> <p>修士 100,000円</p> <p>博士 120,000円</p>	<p>修士 人文系 1 自然科学系1</p> <p>博士 人文系 1 自然科学系1</p>

<p>公益財団法人 同盟育成会 (古野給付奨学金)</p>	<p>〈課程〉学部(4年制課程)、修士、専門職(法曹養成専攻を除く) 〈学年〉2022年4月に学部3年に進級する者、または修士1年に進学する者 〈学部/研究科〉不問 〈国籍等〉不問。 留学生は国際支援課にて取り扱いがあります。希望者は国際支援課または各学部留学生担当へご確認ください。</p> <p>〈その他〉(1) <u>ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指し勉学に励んでいる者。</u> (2) 志操堅固、健康優良、学業成績優秀な者。 (学部は学部1,2年次、修士は学部3,4年次における成績にて、優相当以上が5割以上) (3) 学費の援助が必要と認められる者。</p> <p>※学内選考通過者は、指導教員作成の「推薦書」(A4一枚)のほか、学部学生は財団指定テーマに沿った作文、大学院生は研究テーマに関するレポート提出あり。 <u>(学部生は特にご確認ください→本学教員に推薦書を書いていただける学生のみ出願してください。)</u></p> <p>※学部: 毎年2回1,000字程度の作文提出あり。 修士: 毎年2回1,000字程度のレポート提出、次年度12月に修士論文要約提出あり。 共通: 毎年1回奨学金活用アンケートあり。年数回奨学生研修会あり。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最長2年間)</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度 の給付奨学金・授業 料減免ともに併給可</p>	<p>給付</p>	<p>学部 40,000円</p> <p>院 60,000円</p>	<p>2</p>
---------------------------------------	--	--	-----------	--	----------

<p>公益財団法人 戸部眞紀財団</p>	<p>〈課程〉 学部、修士、博士（専門職を除く） 〈学年〉 学部学生は3年生以上、大学院学生は学年不問 〈学部・研究科〉 不問 〈国籍等〉 日本国籍または同等の権利(永住者・日本人の配偶者・永住者の配偶者・定住者等)を有する者 〈分野〉 化学、食品科学、芸術学、デザイン学、体育学、スポーツ科学、経営学 〈その他〉 (1)学資の支弁が困難であり、経済的支援を必要としている者。 (2)個性豊かでユニークな発想を持ち、将来に期待の持てる者。 (3)目的意識、研究の課題が明確である者。 (4)奨学金を得ることで学業や研究により一層の深化、発展が期待される者。 (5)向学心に富み、学業優秀(優相当以上が全体の6割以上など)であり、且つ、品行方正である者。 (6)2022年4月1日現在で30歳以下の者。 (7)標準修業年限での卒業が2023年3月以降の者。 (8)8月28日(日)～29日(月)の1泊2日で開催予定の奨学生交流会に必ず出席できる者。 (開催形態は感染症の影響により変更する可能性あり)</p> <p>〈支給期間〉 2022年4月～2023年3月</p> <p>※希望者は希望団体選択票の欄外に、出願条件〈分野〉のうち自分がどの学問分野に該当するかを明記すること。 明記されていない場合、希望団体票における本奨学金の選択は無効となります。 <u>内部選考に通過した場合、財団提出用書類として当該分野に係る作文あり。</u> <u>上記分野における目的意識が明確な者のみ申請を受け付けます。</u> ※内部選考に通過した場合、指導教員による推薦書(財団指定様式、A4一枚)の作成が必要。作成いただける者のみ申請すること。 ※支給期間終了後、審査を実施し、1年間を限度に継続を認める場合あり。 ※過去に当財団の奨学生であった者は応募不可。</p> <p>〈併給条件〉 ・他の給付型支援金を併給する場合は、支給額が半額となる可能性あり。 ・他の奨学金との併給を認めていない奨学金を申請している者(既に受給中の者)は応募不可。 ・大学独自奨学金、日本学生支援機構の新制度給付奨学金、授業料等減免は併給制限に該当しません。応募可能。 ・博士課程を対象とした公的な支援制度(学振特別研究員、JST次世代研究者挑戦的プログラム等)の採用者は応募不可。(当財団が別途行っている公募型募集では特別研究員採用者の応募可。)</p>	<p>可</p> <p>※左欄の併給条件より詳細を確認すること。</p>	<p>給付</p>	<p>50,000円</p>	<p>2</p>
--------------------------	---	--------------------------------------	-----------	----------------	----------

<p>公益財団法人 石井記念証券研究 振興財団</p>	<p>〈課程〉学部 〈学部〉法学部、経済学部 〈学年〉3年 〈国籍等〉不問 〈その他〉(1) 金融、証券市場に関心を有する資質優秀な者。 法学部生: 会社法や金融商品取引法等の資本市場法に関する専門科目履修者 経済学部生: 金融・証券分野に関わる専門科目履修者 (2) 学業成績・人物ともに優秀な者。 (3) 将来社会の発展に貢献し得る能力をもち、かつ証券関係分野での活躍を期待される者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、1週間ほどで財団指定の願書等を準備する必要があります。 ※内部選考に通過し本学の推薦者となった場合は、財団による書類審査及び面接選考あり。 ※採用された場合、財団の行事等は必ず出席するよう心がけ、万が一欠席する場合は事前にその理由を申し出ること。</p> <p>〈支給期間〉原則2年間。但し、3年次の学業成績により1年間で給付を中止する場合がある。</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>給付</p>	<p>40,000円</p>	<p>2</p>
<p>公益財団法人 中山報恩会</p>	<p>〈課程〉学部、修士、専門職 〈学部/研究科〉不問 〈学年〉学部3年、修士1年、専門職1年 ※法学政治学研究科のみ、2022年4月入学の専門職2年生(既修生)も対象に含みます。</p> <p>〈国籍等〉日本国籍を有する者 〈その他〉(1) 家計支持者の収入・所得金額が1,000万円以下の者。 (2) 学部生は23歳以下であること。修士、専門職の学生は25歳以下であること。 (3) 大学院生の場合、学部での3年以上の留年がある者、および大学卒業または退学後2年以上社会人となり大学院に再入学した者は応募不可。</p> <p>※本学の推薦者となった学生には、5月下旬～6月上旬に財団の面接選考あり。 ※奨学金は年4回に分割して手渡しで交付(都内)。 ※貸与修了年度の翌年度から起算して奨学金の貸与を受けた月数の3倍に相当する期間内に返還。返還期間の上限は14年。 ※奨学生になった場合、修士・博士課程進学後も支給継続を希望する者に対し、進学前に選考を行い予約採用とする制度あり。但し、日本学術振興会特別研究員との併給は不可。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(専門職3年間課程の場合、最大3年間支給)</p>	<p>民間奨学金は併給不可</p> <p>日本学生支援機構・地方公共団体の奨学金は併給可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>給付 + 貸与</p>	<p>学部 給2.5万円 + 貸1.7万円</p> <p>院 給3万円 + 貸2万円</p>	<p>学部1 修士3</p>

<p>公益財団法人 新日本奨学会</p>	<p>〈課程〉 学部、修士 〈学部・研究科〉 法学部、経済学部、理学部、工学部 理学系研究科、農学生命科学研究科、工学系研究科、学際情報学府、新領域創成科学研究科</p> <p>〈学年〉 学部3年、修士1年</p> <p>〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1) 学業成績、人物ともに優秀かつ健康な者。 (2) 学業の継続において学資の支弁が困難な者。 (3) 内部選考を通過した場合、5月21日(土)に実施予定の財団による面接に必ず出席できる者。</p> <p>※本奨学会の選考は成績を重視します。(目安:優の割合が8割以上) ※財団主催行事への参加や報告書提出義務あり。</p> <p>〈支給期間〉 1年間。但し、継続審査により最長2年間支給。</p>	<p>可</p>	<p>給付</p>	<p>学部 50,000円</p> <p>修士 58,000円</p>	<p>学部3 修士5</p>
<p>公益財団法人 日鉄鉱業奨学会</p>	<p>〈課程〉 学部 〈学部〉 不問 〈学年〉 3年生以上(6年制の学部学科所属の者も含む) 〈国籍等〉 日本国籍を有する者。 〈その他〉 (1) 学資負担者(家計支持者)の税込年間収入(年間所得ではない)が、1,400万円未満である者。 (2) 学術優秀、品行方正、心身健康で、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者。</p> <p>※奨学金の返還は無利子とする。 ※奨学金の貸与が終了したときから、6ヶ月間据置きのと、貸与期間の2倍の期間を限度として返還。</p> <p>〈支給期間〉 ~正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度 の給付奨学金・授業 料減免ともに併給可</p>	<p>貸与</p>	<p>選択制</p> <p>30,000円 または 15,000円</p>	<p>3</p>
<p>公益財団法人 エフテック奨学財団</p>	<p>〈課程〉 修士、専門職、博士 〈研究科〉 不問 〈学年〉 1年 ※出願する年の3月末において、修士・専門職は25歳以下、博士は28歳以下に限る。</p> <p>〈その他〉 (1) 将来社会に貢献できる有用な活動を目指す者。 (2) 奨学金を自身の将来の成長のために有用に活用できる者。</p> <p>※他奨学金との併給は可能だが、奨学金給付額の合計が一般常識の範囲を超える場合は不可。一般常識の範囲は、年間の授業料および諸経費を基準に判断する。 ※ ※年1回の奨学生交流会への出席が必須。</p> <p>〈支給期間〉 1年間。但し延長申請を認める。</p>	<p>可</p>	<p>給付</p>	<p>30,000円</p>	<p>2</p>